

大久保医院新聞

令和3年(2021年)1月6日発行(第157号)
発行所:大久保医院 (Tel:045-788-6565)
日本小児科学会認定専門医、日本糖尿病学会認定専門医
所在地:横浜市金沢区六浦南2丁目42番18号
<https://clinic-ookubo.com>

新しい年(2021年)を迎えて

新しい年(2021年)は、新型コロナウイルス感染症の大流行の中で迎えました。

私は正月には、毎年鎌倉小町1丁目の本覚寺に参拝に行き、「にぎり福」のお守りを買います。今年も3日に本覚寺を訪れましたが、参詣者もまばらで、出店もなく閑散としており、コロナ禍の厳しい現実を実感しました。

新型コロナウイルス感染症流行の早期の収束をお願いしてきました。



ホームページをリニューアルしました

2020年12月25日に大久保医院のホームページを新しくしました。

以前の(初代)ホームページは、2003年(平成15年)に、Microsoft社のWeb作成ソフト(FrontoPage2002)を使い院長自らが作成したものです。



2014年4月8日にFrontoPageのサポートが終了しました。2018年以後は、Windowsの「Expression Web」を使いトップページ、インフルエンザのお知らせのページを変更してきましたが、その他のページは変更できない状態が続いてきました。その初代ホームページは、61,459人(2020年12月23日現在)の訪問者がありました。

ホームページを作成した頃(2003年~2010年)は、ホームページの閲覧するのは、パソコンが主体でした。最近は、パソコンよりスマホを使い閲覧する人が多くなりました。そこで、ホームページを新しくし、パソコンとスマホの両方で見やすいものにしました。今回は、Web作成のプロの方に依頼しました。

今正に、新型コロナウイルス感染症の真只中にいます。この流行の最新の情報を適格に伝えられるよう感染症情報の記載を充実させました。新型コロナウイルス感染症の流行推移、当院の感染症に対する対策、発熱感染症外来の診療時間帯などを、お知らせ欄・コラム欄に記載しました。

新しくなったホームページのアドレスは以下の通りです。

<https://clinic-ookubo.com>

当院はユニセフ活動に協力しています。皆様より頂いた令和2年9月1日より令和2年12月31日までの募金2,977円をユニセフ協会に送金します。新聞をお持ちになる方はコピー代として募金活動にご協力下さい。

大久保医院の新型コロナウイルス対策

1) 発熱診療等医療機関について:

当院は、2020年11月24日に神奈川県知事より「発熱診療等医療機関」に指定されました。診療対象者は、①**大久保医院のかかりつけ患者** 及び ②**大久保医院に相談のあった患者である発熱患者等**です。

受診を希望する上記の患者さんは、必ず電話で発熱感染症外来を予約し、決められた時刻にご来院ください。

発熱感染症外来の診療時間帯は、11:00~12:00 及び 16:30~17:30 の2時間です。

2) 発熱感染症外来での診察前、診察、診察後の注意点

2.1) 診療予定人数、付き添い:

各時間帯の予定人数は、2名です。原則として付添人 同伴でおいください。必ずマスク着用です。

2.2) 診察前の手続き:

・車で来院の際は、患者さんは診療まで車の中でお待ちください。付き添いの方が、受付で診察の手続きをお取り下さい。

2.3) 診察の注意点:

・診察時院長は、マスク、フェイスシールド、防護服を着用します。患者さんと院長は、最低1m、可能なら2m離れて、診察します。診察時間は、1人30分を予定しています。

2.4) 診察にともなう検査:

・インフルエンザが疑われるときは、インフルエンザ迅速検査を鼻汁で行います。結果は15分後に判ります
・新型コロナウイルス感染症が疑われる時は、PCR検査(検体:唾液)実施いたします。検体を検査機関に提出し、その結果は、翌日の13時頃に判明します。

なお、当院での新型コロナウイルスPCR検査は、健康保険で行います。行政検査ではありませんので、その健康保険点数の1割~3割の自己負担(3割負担で、凡そ5000~6000円)が生じ、初診料を含めると診察料は1万円前後になります。

2.5) 診察後の注意点:

新型コロナウイルスの感染力は、発症2日前から症状発症後3日位が最大との報告もあります。症状がなくても、その感染を疑い数日間には充分注意して行動して下さい。

編集後記

2021年最初の院内新聞を発行しました。本日(1/6)の報道によると、流行の拡大を防ぐ為に新型コロナウイルス対策として1都3県に2回目の緊急事態宣言が1/7に発出とのことです。賢く畏れ、しっかり対策を持って対応し、このコロナ戦争に打ち勝つことが、我々の責務だと思います。